

## Ⅱ 暮らしの向上

### 6 文化の振興

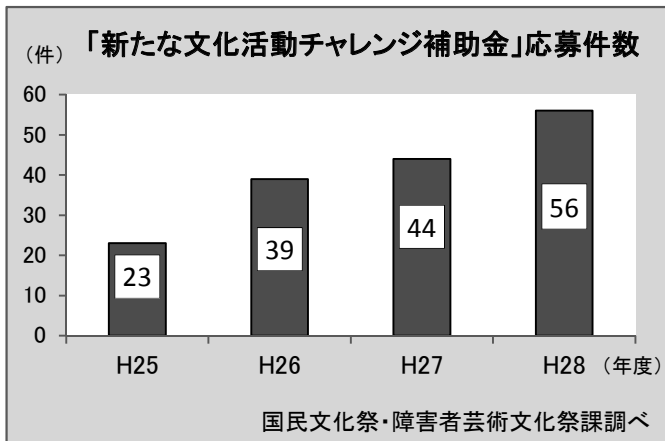
主担当部局(長)名  
地域振興部長 村田 崇

#### 目指す姿

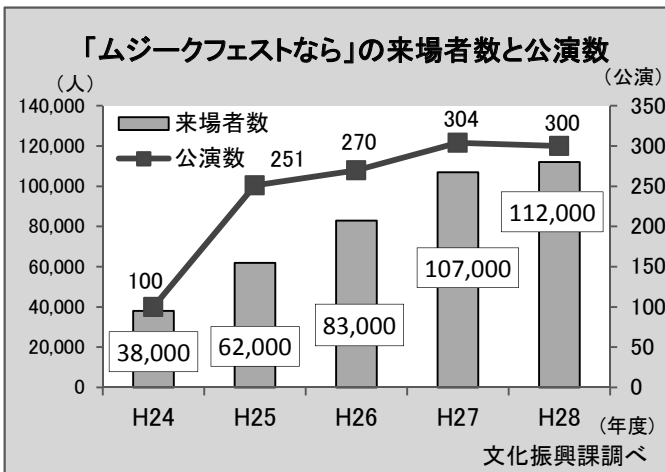
奈良の歴史文化の魅力や背景を分かりやすく伝えることや質の高い文化芸術イベントを実施することにより、文化力を高めるとともに、文化芸術への参加、鑑賞の機会を拡大し、活動の裾野拡大を図ります。また、文化資源を活用し、奈良の魅力を高めることにより地域活性化を進めます。

関係部局(長)名：南部東部振興監 山本 尚、観光局長 森田 康文、くらし創造部長 榎田 斉志、まちづくり推進局長 金剛 一智、教育長 吉田 育弘

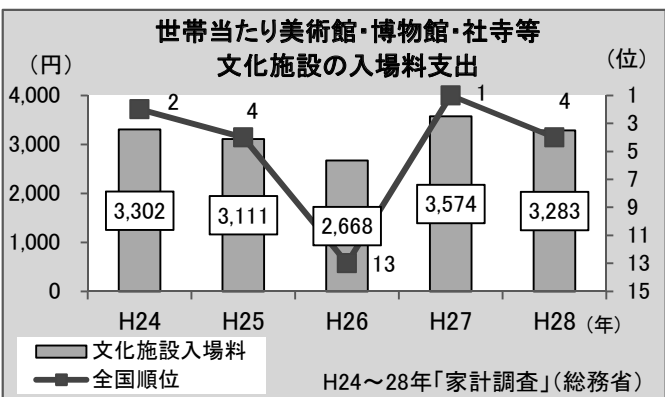
#### 1. 政策目標達成に向けた進捗状況



<b>目標</b>	平成28年度までに、「芸術・文化」を行う県民の割合を全国1位にします。(H23年度:2位)
<b>取組</b>	県内の文化芸術団体の優れた取組に対して補助を行う「新たな文化活動チャレンジ補助金事業」を実施し、県民が「芸術・文化」に親しむ機会を創出しました。
<b>成果</b>	平成28年度の応募件数は56件と、前年度に比べて12件増加しましたが、「芸術・文化」を行う県民の割合は、全国2位(H23年度)から全国5位(H28年度)に下がりました。

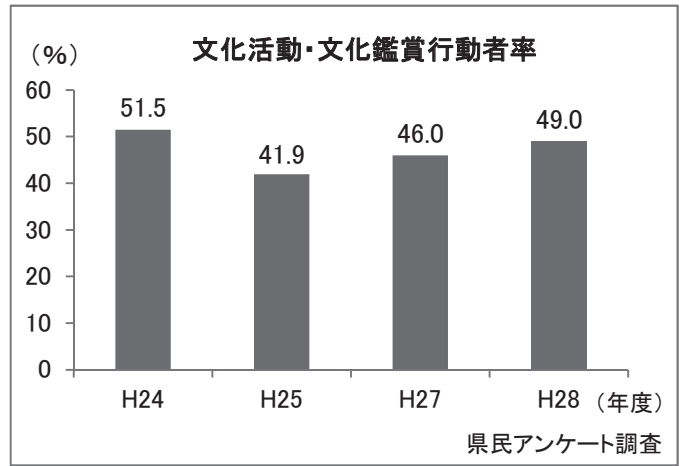
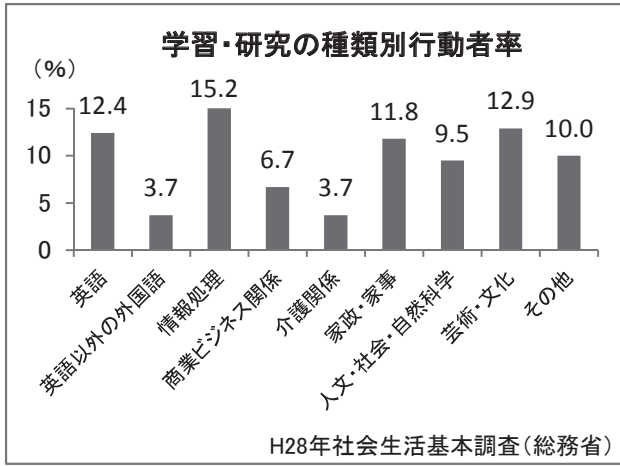


<b>目標</b>	平成31年度までに、文化関連支出(世帯当たり)を全国10位以内にします。(H26年度:14位)
<b>取組</b>	「ミュージックフェストなら2016」「奈良・町家の芸術祭はならあと2016」を開催しました。
<b>成果</b>	「ミュージックフェストなら2016」「奈良・町家の芸術祭はならあと2016」等の文化関連イベントを開催し、県民が文化活動を行うきっかけを提供したこと等により、世帯当たりの文化関連支出が全国6位(H25年～27年平均)から全国4位(H26年～28年平均)に上昇しました。



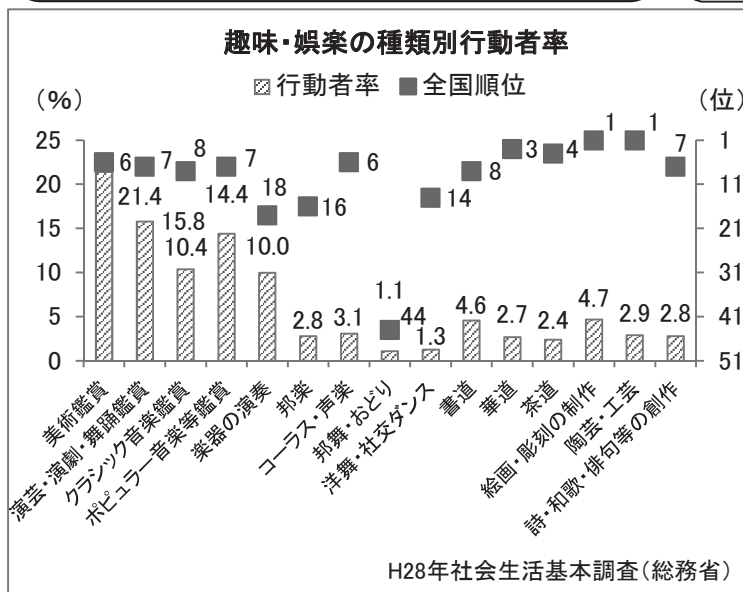
<b>目標</b>	平成31年までに、美術館・博物館・社寺等文化施設入場料支出(世帯当たり)を全国1位にします。(H24年からH26年平均:3位)
<b>取組</b>	県立文化施設で、県民が芸術文化に親しみ楽しむ場として特色ある取組を行いました。
<b>成果</b>	県立文化施設で質の高い展示や企画展を開催し、平成28年度の来場者数は1,355千人を超えました。また、世帯当たりの文化施設の入場料支出は全国4位(H28年)と高い水準を維持しています。

## 2. 現状分析

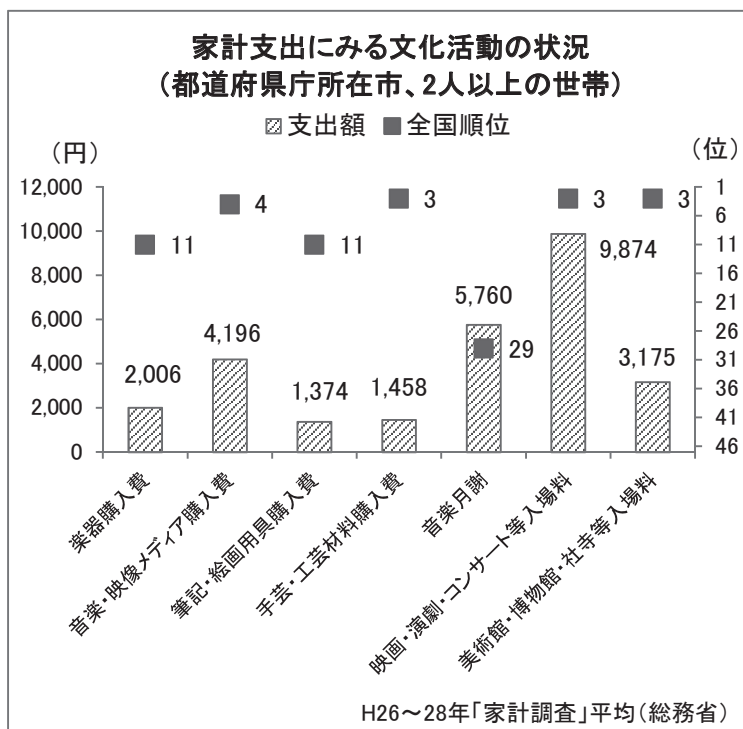


奈良県民の学習・研究の種類別行動者率を見ると「芸術・文化」を行う県民の割合が12.9%であり、全国5位の高さです。

県民アンケートにおける、文化活動・文化鑑賞行動者率は49%と高い数値になっています。



・趣味・娯楽における文化芸術を行う割合は、全国と比較し高い水準です。  
 ・美術鑑賞は全国6位、華道は全国3位、茶道は全国4位、絵画・彫刻の制作、陶芸・工芸は全国1位と全国順位の高い分野が多くなっています。



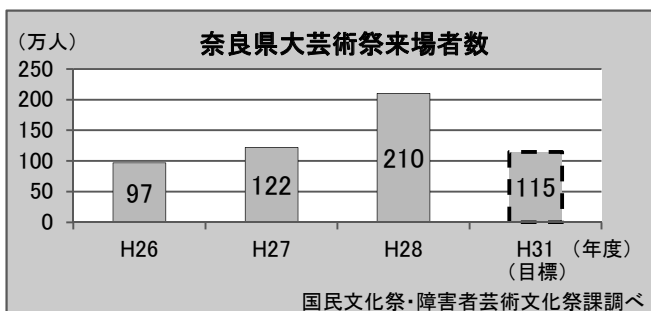
・文化芸術にかかる支出額は、全国と比較し高い水準です。  
 ・手芸工芸材料購入費、映画・演劇コンサート等入場料及び美術館・博物館・社寺等入場料は全国3位、音楽・映像メディア購入費は全国4位と、全国順位の高い分野が多くなっています。

### 3. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略1 文化芸術への参加、鑑賞の機会や活動の裾野を拡大し、奈良の文化力を向上します。

主担当課(長)名 文化振興課長 桐田 健吾

戦略目標	①伝統芸能等奈良が持っている質の高い文化資源を活用して、奈良の文化力を高めます。 ②老若男女の様々な層の文化芸術活動の活発化により、県民の文化芸術に対する満足度を高めます。 ③平成31年度までに、文化芸術への参加、鑑賞の機会を創出するために、奈良県大芸術祭の来場者数115万人を目指します。(H26年度:97万人) ④平成31年度までに、上質な文化芸術に触れる催事を積極的に開催し、県民アンケートにおける「ムジークフェストなら」の周知度50%以上を目指します。(H26年度:21.9%) ⑤文化・芸術の担い手の養成を進めます。 ⑥有識者の講演録等県が保有する知的情報を広く県内外に発信し、奈良のステータスを高めます。 ⑦文化施策の方向性を明らかにし、文化振興大綱を策定します。
------	--



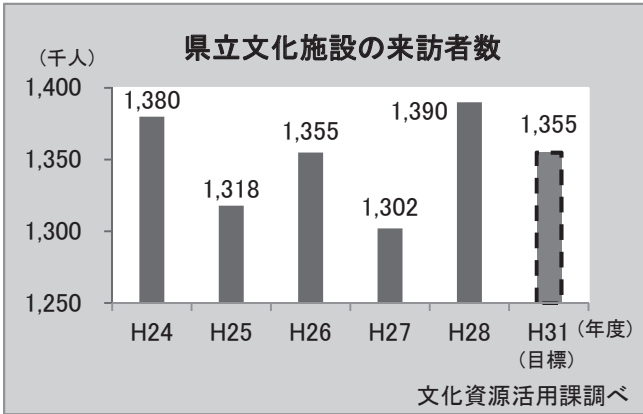
取組	奈良の魅力高め、県民の参加拡大を図る芸術祭を開催しました。(②,③)
成果	周知をより徹底したことにより、参加イベント数が大幅に増加し、平成28年度の来場者数は210万人と、前年度と比べて88万人の増加となり、平成31年度目標の115万人を大幅に超え、目標を達成しました。

主な取組指標等	平成26年度	平成27年度	平成28年度	担当課名
奈良だからこそできる音楽祭の開催(④)				
「ムジークフェストなら」来場者数(千人)	83	107	112	文化振興課
上質な芸術文化に触れる機会の提供(④)				
県立美術館での展覧会催事数(件)	4	5	4	文化資源活用課
県立万葉文化館での展覧会催事数(件)	7	6	6	文化資源活用課
文化・芸術活動を支える人材の育成(⑤)				
県立ジュニアオーケストラの公演活動数(件)	8	7	5	文化振興課
文化芸術団体や個人が行う発表の場の拡充(②,③)				
「奈良・町家の芸術祭はならあと」出展作家数(組)	85	84	23	地域デザイン推進課
奈良県美術展覧会応募作品数(件)	895	858	840	国民文化祭・障害者芸術文化祭課
奈良県ジュニア美術展覧会応募作品数(件)	734	767	861	文化振興課
文化芸術団体への支援の拡充・強化(②)				
「新たな文化活動チャレンジ補助金」の応募件数(件)	39	44	56	国民文化祭・障害者芸術文化祭課
奈良県が保有する知的情報の発信(⑥)				
文化セミナー開催回数(回)	3	3	2	国民文化祭・障害者芸術文化祭課

#### これまでの成果

- ・「奈良・町家の芸術祭はならあと」を、県内の歴史的町並みが残る4地域で計48日間にわたり開催しました。地域住民と作家がコミュニケーションを重ね取り組んだ結果、合計34,700人の来場者がありました。(①,②,③)
- ・「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」の開催に向け、県民等に広く周知するとともに、開催機運の醸成を図るため、カウントダウンイベントの開催やPRキャンペーンの実施等の広報活動を展開しました。(②)

戦略目標	①歴史的文化資源を幅広く対象とした整備活用や各種支援を行います。 ②わかりやすい歴史展示や多言語化等により情報発信を強化します。 ③海外の美術館での展示や国際機関との連携等により国際展開を図ります。 ④文化資源を活用した地域交流や人材育成を図ります。 ⑤「文化芸術立国」に向けた先駆的な施設整備を行います。 ⑥平成31年度までに、県立文化施設の来訪者数1,355千人を目指します。(H25年度:1,318千人) ⑦文化施策の方向性を明らかにし、文化振興大綱を策定します。(再掲)
------	---



取組	県立文化施設で、県民が芸術文化に親しみ楽しむ場として特色ある取組を行いました。(⑥)
成果	県立美術館で「藤代清治メルヘン展」を開催するなど、県立文化施設で質の高い展示や企画展を開催し、平成28年度の県立文化施設の来場者数は1,390千人となり、平成31年度目標の1,355千人を超え、目標を達成しました。

主な取組指標等	平成26年度	平成27年度	平成28年度	担当課名
文化資源を活用した整備・情報発信等への支援(①,②)				
補助金を通じた整備・活用への支援数(件)	8	13	26	文化資源活用課
歴史的文化資源データベースの構築(①)				
ホームページ「いかす・なら」に掲載している歴史文化資源数(件)	—	—	96	文化資源活用課
県内古文書の翻刻、公開等(④)				
難解で貴重な古文書を読むことができる人材の育成者数(人)	55	78	78	文化資源活用課
奈良らしい歴史展示等の推進(②)				
現地解説Q&A解説版設置数(基)	15	25	35	文化資源活用課
地域交流や人材育成の推進(④)				
市民参加の発掘調査「市民発掘隊」の修了者数(人)	—	—	13	文化資源活用課
記紀・万葉プロジェクトの推進(①)				
「記紀・万葉」県民活動支援補助金採択件数(件)	20	26	20	文化資源活用課

これまでの成果

- ・奈良県の強みである歴史文化資源活用分野と芸術文化振興分野の施策に力点を置いた奈良県文化振興大綱を平成29年3月に策定しました。(⑦)
- ・県内各地域で大切にしたい歴史文化資源を掲載した奈良県歴史文化資源データベースをウェブ上で公開するホームページ「いかす・なら」を平成29年3月に開設し、「出会う」「深める」「活かす」「楽しむ」をテーマに多彩なコーナーを設けました。(②)
- ・奈良県の強みである歴史文化資源を核とした文化・芸術振興の拠点として整備する(仮称)奈良県国際芸術家村整備基本計画を平成29年3月に策定しました。(⑤)



#### 4. 平成30年度に向けた課題の明確化

<p>＜政策目標達成に向けた進捗状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「芸術・文化」を行う県民の割合は、全国2位(H23年度)から全国5位(H28年度)に下がりました。</li> <li>・世帯当たりの文化関連支出が全国6位(H25年～27年平均)から全国4位(H26年～28年平均)に上昇しました。</li> <li>・世帯当たりの文化施設の入場料支出は全国4位(H28年)と高い水準を維持しています。</li> </ul>	<p>＜奈良県の持っている強み＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学習・研究で「芸術・文化」を行う県民の割合が12.9%で、全国5位</li> <li>2 趣味・娯楽で芸術鑑賞・文化芸術を行う県民の割合が全国的に見て高い分野が多い</li> <li>3 文化活動に関する家計支出額が全国的に見て比較的高い水準</li> <li>4 人口100万人当たりの博物館数が全国11位</li> <li>5 3つの世界遺産をはじめとする文化遺産が豊富</li> <li>6 コンサート等を開催できる世界遺産が所在(東大寺、薬師寺等)</li> <li>7 能楽の発祥地</li> <li>8 数多く残されている歴史的な町並み等の文化的景観</li> <li>9 国宝201点、うち建造物については全国最多の64点の全国有数の文化財の所在を誇る(H29年3月現在)</li> </ol>	<p>＜奈良県の抱えている弱み＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>10 多くの観客を収容できる施設が少なく、トップアーティストの招聘が困難</li> <li>11 文化活動発表の場が少なく、アーティストは県外に活動拠点を求める傾向</li> <li>12 県立の文化施設が老朽化</li> </ol>
<p>＜戦略目標達成に向けた進捗状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県大芸術祭の平成28年度の来場者数は210万人と、前年度と比べて88万人の増加となり、平成31年度目標の115万人を達成しました。</li> <li>・県立文化施設で質の高い展示や企画展を開催し、平成28年度の県立文化施設の来場者数は1,390千人となり、平成31年度目標の1,355千人を達成しました。</li> </ul>		
<p>＜奈良県への追い風＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>a 景気回復による文化関連消費の増加への期待</li> <li>b 歴史的な町並み等の文化的景観が多くの人に目直されつつある</li> <li>c 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催</li> <li>d 2017年に奈良県で国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催</li> <li>e 文化振興大綱の策定</li> </ol>	<p>＜強みで追い風を活かす課題＞</p> <p>【重要課題】上質な文化芸術に触れる機会の創出(2,3,7,a)</p> <p>【重要課題】文化における国際交流や国際貢献の推進(c)</p> <p>【重要課題】(仮称)奈良県国際芸術家村の整備(1,2,3,5,7,8,9,a,b,e)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の強みである歴史文化資源活用分野と芸術文化振興分野に力点を置いた施策の推進(1,2,3,4,5,6,7,8,9,b,c,d,e)</li> <li>・文化・芸術活動を支える人材の育成(1,3,a,d)</li> <li>・奈良県歴史文化資源データベースの構築(5,6,7,8,9,a,b,c,d,e)</li> <li>・効果的な情報発信手法の確立(5,6,7,8,9,a,b,c,d,e)</li> <li>・聖徳太子プロジェクトの推進(1,2,3,5,9,a,e)</li> <li>・地域の歴史を大切にする機運の醸成(1,2,3,4,5,8,9,a,b,e)</li> <li>・歴史文化を継承する担い手の育成(1,2,3,4,5,7,8,9,a,b,e)</li> </ul>	<p>＜弱みを踏まえ追い風を活かす課題＞</p> <p>文化芸術団体や個人が行う発表の場の拡充(11,12,a,e)</p>
<p>＜奈良県への向かい風＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>f 著名なアーティストや作品は大都市での公演、展示に集中する傾向</li> </ol>	<p>＜強みで向かい風を克服する課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術団体への支援の拡充・強化(2,3,f)</li> <li>・奈良だからこそできる音楽祭の開催(2,3,6,f)</li> </ul>	<p>＜弱みを踏まえ向かい風に備える課題＞</p> <p>県立文化施設の整備・改修等(10,12,f)</p>

## 5. 平成27年度の評価を踏まえ、平成29年度に向けて見直した課題、取組

見直した課題	見直した取組方針、見直した内容
上質な文化芸術に触れる機会の提供(戦略1)	「ムジークフェストなら2017」において、若者向けコンサートを増やしたり、幼稚園から高校に対してアウトリーチ(出張公演)を行い、幅広い世代に上質な音楽に触れてもらう機会の拡大を図りました。

## 6. 重要課題についての今後の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
上質な文化芸術に触れる機会の提供(戦略1)	奈良県大芸術祭や、「ムジークフェストなら」等のイベント内容の充実や、幅広い年齢層に参加してもらえる公演の拡大、「国民文化祭・障害者芸術・文化祭なら2017」のレガシーの継承、また県立文化施設においても魅力的な催しを実施します。
文化における国際交流や国際貢献の推進(戦略2)	類まれなる文化資源である県内の仏像をヨーロッパの著名な美術館や博物館で展示することにより、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、「日本のはじまり奈良」を世界に向けて発信し、誘客につなげます。
(仮称)奈良県国際芸術家村の整備(戦略2)	本県の強みである歴史文化資源を最大限活用し、複合的サービスを提供する地域振興の拠点として、平成32年度中の完成を目指し、(仮称)奈良県国際芸術家村の整備を推進します。